

平成29年春に オープン予定！

「(仮称)道の駅平泉」 施設の概要は？

全体敷地面積は約1万4000平方メートルで、地域振興施設と道路休憩施設などを整備します。建物の構造は木造平屋建てで、建物延床面積は約1567平方メートルです。今後「道の駅」としての認定も受ける予定です。

①地域振興施設

▽物産施設 約294平方メートル
▽レストラン施設 約224平方メートル

②道路休憩施設など

約422平方メートル
約627平方メートル

③その他施設

施設の機能は？

施設の内부는、物産施設(農産物・物産品・加工品販売スペース)とレストラン施設、軽食コーナー、観光案内・休憩所のエントランスホール、自販機コーナー、厨房、事務室、トイレ、倉庫などです。

施設の特徴は？

駐車スペースには大型車と普通車のほか、電気自動車ユーザーに配慮しEV充電スタンドも設置する予定です。またイベントを開催する際に活用するイベント広場、大地震などの災害に備えて、非常用トイレとしても活用できる防災広場なども整備します。

町と国の「二体二施設」

一般的な「道の駅」では、市町村が管理する地域振興施設(農産物直売施設など)があり、それは別棟に国が管理する道路休憩施設(休憩所、トイレなど)があります。「(仮称)道の駅平泉」では利用者の利便性を考慮し、それぞれの施設を同一の建物内に整備することにしました。

施設の外観

柳之御所資料館前の国土交通省用地のスペースを最大限有効活用するため、施設の形は「三角形」となっています。

施設で農産物、物産品、加工品を販売するには？

現在、町内で農産物や物産品、加工品などを生産する個人や法人を対象に販売希望者を募集しています。

できるだけ町内産にこだわった特徴ある品ぞろえを心掛けたと考えていますので、多くの生産者の参加をお待ちしています。販売希望者は役場農林振興課までお申し込みください。
◎申し込み・問い合わせ先
農林振興課 ☎46-5564

【特集】「(仮称)道の駅平泉」の整備が始まります — 終わり

今後のスケジュール

平成28年4月	建設工事着工
平成28年春	「道の駅」名称の募集
平成28年9月	国交省に「道の駅」登録申請
平成29年3月	施設完成、「道の駅」登録
平成29年春	「道の駅」オープン

また柳之御所遺跡など歴史的風景と調和した魅力的な木造空間を持つ建物となっています。屋根は、復元された柳之御所遺跡の主要建物から模倣した入母屋風としています。
■地元産へのこだわり
レストラン施設では地域食材を利用した特色あるメニューを提供し、地産地消を推進します。物産施設では、地域の特産物や安全で新鮮な農産物を提供し、観光客などに地域の魅力を発信していきます。
この施設のみで完結するのではなく、この施設を核にして、町中に波及効果が生まれる仕組みを作り、PRを行います。



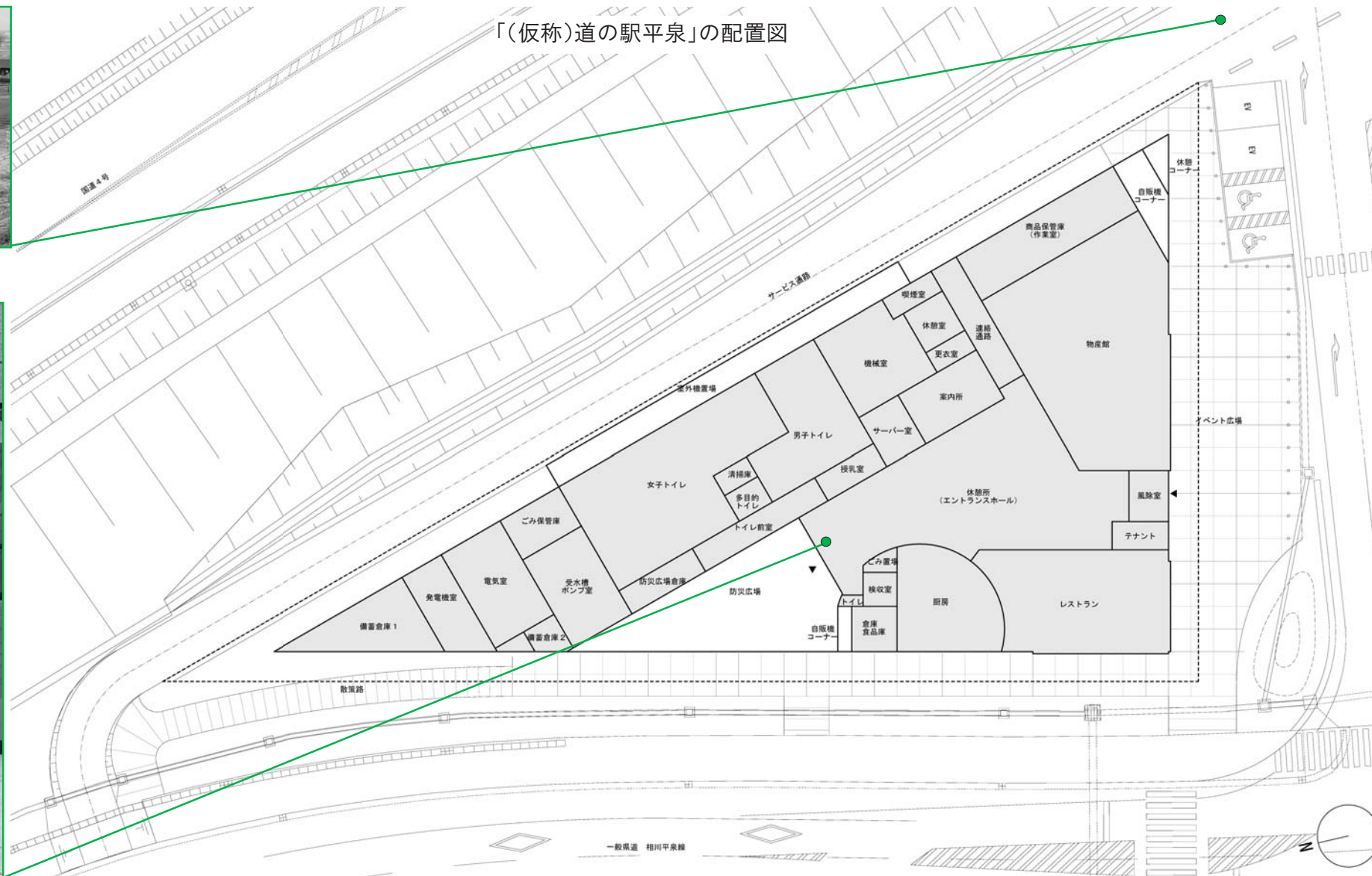
(施設完成後)堤防側から見た景色 ※模型



(28年3月18日現在)堤防側から見た景色



エントランスホールの完成予想図



「(仮称)道の駅平泉」の配置図